
事業報告書

ANNUAL REPORT

2019年度 '19.4~'20.3

一般社団法人 中部産業連盟

事業報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

はじめに

2019年度日本経済は、中国景気の減速懸念、貿易摩擦など様々な不安要因があるものの改善基調でスタートしたが、年度末（2020.1～3月）には、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が出され、外出自粛・営業自粛など経済活動は極めて厳しい状況となった。

中部産業連盟は、会員企業約750社を中心に産業界のご支援により、産業界の発展に貢献することを行動指針として、コンサルティング事業ならびに各種人材育成事業を積極的に推進した。

2019年度は、新事業開発をさらにすすめ顧客創造による基幹事業の充実を目指した。また引き続き体質強化と人員の増強による組織の安定性と成長性を高め、経営基盤を強固にすることで産業界に対する質の高い支援体制の確立を図った。

2019年度事業として、コンサルティング事業（657件、審査認定事業520件）は、国内・総合系では経営環境が予測しづらい不安定な時に伴い、企業の経営計画策定、人事制度改革、業務効率化ソフト（RPA）導入による事務効率化などのコンサルティングを実施。特に今年度は労働力確保や働き方改革など人材や効率化に関する案件が増加した。生産・ISO系では製造業に対して、品質改善、生産性向上、原価低減、生産現場改善、ICT、IoT活用による自動化、効率化、SDGs導入支援などのコンサルティングや金融機関・投資ファンドと連携した事業再生支援、ISOなどの認証支援、Pマーク認定審査事業、5S・VM（ビジュアルマネジメント＝見える経営）活動による経営革新、生産革新などを実施した。

また、セミナー事業（企業内）は、個別企業のニーズに対応した経営層から管理・監督者、若手・新入社員まで、階層別、機能・分野別研修など

を423件実施。一方、セミナー事業（公開）は、第10期木曾駒塾、製造業の女性・シニア活躍推進に特化したものづくりダイバーシティ研究会、ものづくり企業で働く女性シリーズ、米国ノートルダム大学短期留学コース、中小企業の人材確保支援事業（シニア人材）、中小企業診断士養成課程講座、イノベーションプログラムiアカデミー、ISO・VDA関連研修、ものづくり応援フォーラム、海外洋上研修「創造の船」、階層別研修、生産・営業・ビジネススキル研修、TPS研究会など578コースを積極的に実施した。また、「ネクスト・イノベーション・テクノロジーフェア2020」は新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

この他、国際協力事業は、タイ、アゼルバイジャン、インドなど（10件）や環境パートナーシップCULB（EPOC）など受託事務局事業（6件）を実施。また、会員サービス事業として、会員懇話会を年10回開催、さらに会員相互の交流の場である会員交流会を実施。経営・法務相談室、機関誌「月刊プロGRESS」の発行などを通して新しいマネジメントの提言、企業戦略の紹介など実践的で関心の高いテーマについて情報発信・交流活動などに取り組んだ。

2019年度 事業活動実績ならびに業務報告

目 次

I. 分野別事業活動

1. コンサルティング事業	1
2. セミナー事業（企業内）	9
3. セミナー事業（公開）	13
4. 国際協力事業	25
5. 受託事務局事業	26

II. 業務報告

1. 会 勢	30
2. 会 議	30
3. 庶 務	32
4. 協力活動	32
5. 役・職員の対外的協力活動	32
6. 会員支援	33

I. 分野別事業活動

中産連では、次の5事業を実施、各事業については事業部別に報告。

1. コンサルティング事業
2. セミナー事業（企業内）
3. セミナー事業（公開）
4. 国際協力事業
5. 受託事務局事業

1. コンサルティング事業（657件、審査事業520件）

(1) コンサルティング事業部

1) 国内人事・総合

経営環境が予測しづらい不安定な時代であり、企業の経営計画策定、人事制度改革、業務効率化などに関するコンサルティングを幅広く実施。特に今年度は労働力確保や働き方改革が社会的な課題であり、人材や効率化に関する案件が増加。

①人事制度改革

人材育成や人事評価、目標管理の導入などのコンサルティングを実施。社員の定着・離職防止や新規雇用の安定化を目指し、働き方改革を志向。

- ・人事制度全般の改革
- ・人事評価制度の改革
- ・教育体系の構築と実践サポート
- ・目標管理の導入と実践サポート
- ・シニア社員の活躍推進
- ・組織活性化調査

②経営計画策定

5年程度先を想定した経営ビジョンや中長期経営計画を策定する支援を実施。

選抜した管理職を対象に育成をしながらアウトプットを出す形式が主体。

- ・中長期ビジョンの策定とロードマップづくり
- ・全社レベルの中長期経営計画の策定
- ・社員の行動規範策定
- ・販売戦略立案

③管理・間接部門の業務効率化

人材確保が追いつかず、間接業務の効率化に苦慮する企業が増加。中部地区は製造部門の効率化の歴史は長いですが、最近では管理・間接部門の業務効率化が進まないとの相談が多く、効率化ソフト（RPA）導入やフォローを交えて支援。

- ・ 間接部門の業務棚卸し、業務効率化
- ・ 効率化ソフト（RPA）導入による事務自動化
- ・ 個人目標管理による成果評価の導入で、業務効率化を促進

④介護サービス事業における生産性向上

厚生労働省事業「介護サービス事業（居宅サービス分）における生産性向上に資する研究及びガイドライン改訂一式」において、生産性向上のための取組みを行うモデル10事業所に対して、コンサルティングを実施。

- ・ 事務スペース、施設の5S
- ・ 介護記録の作成、入力業務の効率化
- ・ 送迎時間の効率・短縮化
- ・ 業務の標準化、動画マニュアルの作成
- ・ タブレット端末を活用したコミュニケーションの円滑化

2) 生産・ISO

製造業に対し、生産性向上、原価低減、品質改善、在庫削減及びリードタイム短縮、生産管理等のITシステム構築、人材育成等に関するコンサルティングを実施。

①生産現場改善支援

中産連が開発した「目で見える基準書による現場改善」の手法をベースにしたものづくり改善活動を支援。

- ・ 改善推進計画と管理
- ・ 標準書類の整備
- ・ 標準作業の作成
- ・ 少人化の推進
- ・ 設備保全の仕組みの確立
- ・ 5Sの推進
- ・ 目で見える管理の推進
- ・ 品質のつくり込み
- ・ 流れの設計と管理
- ・ 工数低減活動の推進

また、各企業からのニーズに応じたテーマにおいて、生産診断、生産改善・改革活動を支援。

- ・ 生産診断、工場簡易診断
- ・ 収益性向上のための工場現場改善
- ・ コスト競争力改善のための生産革新
- ・ ICT、IoTの活用による自動化、効率化
- ・ 生産管理システムの構築
- ・ 原価管理システムの構築
- ・ TPM活動の推進
- ・ QCサークル活動推進支援

- ・ 5S活動の推進
 - ・ 労働安全衛生の指導と管理システムの構築
 - ・ 業種特性に合わせたBCPの構築支援
- ②金融機関、支援機関との連携によるコンサルティング
- 金融機関、支援機関と連携し、多業種の製造業に対して経営診断および生産診断を行い、企業のニーズに基づいたコンサルティングを実施。
- ・ 生産簡易診断→診断報告会→コンサルティングの実施
- テーマは、経営計画の策定、収益改善に関わる売上向上とコストダウン推進（生産性向上、不良・歩留改善、省エネ化等の経費削減、業務効率化による省人化）、キャッシュフローの改善（在庫削減とリードタイム短縮）、人材育成。
- ③国際・国内マネジメントシステム規格の構築、認証取得支援
- ISO9001、ISO14001、IATF16949、VDA6.3、ISO27001、ISO22000、ISO45001などの認証取得支援やレベルアップ、マネジメントシステムと経営管理システムとの統合をめざしたコンサルティングを実施。
- VDA関連では特に下記を新たに実施。
- ・ 企業内での有資格者によるVDA6.3プロセス監査の実施コンサルティング
 - ・ 新しいFMEA研修（AIAG〔米国〕とVDA〔ドイツ〕の統一FMEA研修）の日本語化
 - ・ コアツール研修の日本語化
 - ・ VDA6.3プロセス監査員資格更新ワークショップの日本語化
 - ・ 1st2nd IATF16949監査員資格更新ワークショップ及び更新試験の日本語化
 - ・ 下記のVDA規格の日本語翻訳支援
 - VDA3.1「自動車メーカー及びサプライヤーの信頼性保証～信頼性マネジメント」
 - VDA3.3「信頼性管理ループにおけるケーススタディ」
 - VDA「市場故障分析及び監査基準」
 - VDA「頑健な生産プロセス」（更新再版）
- また、2018年6月の食品衛生法の改正によるHACCPの制度化により、食品製造業における食品安全マネジメントシステム構築のコンサルティングニーズが増加。これに対応するとともに、今後のニーズ増大に向け、内部体制の強化を図った。また、JFS-E-A/B規格の監査機関として、HACCPシステム認証の監査を実施。
- 3) 事業再生・企業経営力強化
- ①金融機関、投資ファンド等と連携を行い、企業価値向上・経営力強化および具体的テーマのコンサルティングやモニタリングを実施。
- ・ 経営診断、事業診断、工場診断
 - ・ 経営改善計画策定支援
 - ・ 事業経営基盤強化支援
 - ・ 収益性向上改善活動の支援
 - ・ 事業デューデリジェンスの実施

- ②都道府県の中小企業再生支援協議会「経営改善支援センター」の認定支援機関として、経営改善計画の策定支援およびコンサルティングを実施。
- ③「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」申請関連のコンサルティングを実施。
- 4) Global GAP（農業生産工程管理）認証審査および実践研修
- ①Global GAP認証審査サテライト機関より委託を受け、農業生産法人などに対して同審査を実施。
- ②農業生産工程管理（GAP）実践研修
- 農業生産法人の営農指導員・都道府県の普及指導員に対して、農業生産工程管理（GAP）実践研修を実施。
- 5) SDGs 導入支援
- SDGsのうち、気候変動について、SBT（温室効果ガス削減目標）導入支援事業を実施。
- 6) Pマーク審査事業
- プライバシーマーク審査指定機関（認定機関：JIPDEC）として、愛知県／岐阜県／三重県／石川県／富山県を中心に約520社に対してプライバシーマーク付与適格性認定審査（新規登録／更新／合併等）を実施。
- JIPDECが発行した新「審査基準」への審査先事業者の対応も進む。
- 愛知県／岐阜県／石川県／富山県等で「プライバシーマーク更新事業者向け説明会」「JIS規格／審査基準セミナー」「内部監査員研修」等（全10回延べ300名程度参加）を開催し、プライバシーマーク制度の普及／啓蒙に寄与。
- 審査員の力量向上を目的とした「プライバシーマーク審査員研修会」（登録審査員35名参加）を、計画通り2回（6月／12月）実施。

(2) マネジメント事業部

1) 第1部

- ①トヨタ生産方式をベースとした生産現場改善、生産技術・製造技術力強化とそれを支える人材育成に関するコンサルティングを実施。

「現場力改善」コンサルティング

- ・生産現場力改善
- ・生産準備業務改善
- ・生産技術力向上活動
- ・生産管理改善（品質管理を含むサプライチェーンの仕組みづくり）
- ・全社生産革新活動
- ・自主研究会方式による生産現場改善活動

「人材育成」コンサルティング

- ・モノづくり中核人材育成プログラム（部課長編・係長編）
- ・TPSに基づく管理職問題解決支援（部長・リーダー）
- ・次世代経営幹部養成
- ・自社経営計画策定

②本社・間接部門を含んだ生産性向上を目的にした業務改革コンサルティングを実施。

- ・管理間接部門における業務「質」改善と活性化
- ・調達先原価低減活動
- ・新商品、新技術開発活動

2) 第2部

ものづくり企業の価値創造のために、生産現場改善をはじめ、生産技術／製造技術力向上、新商品開発力獲得、職場風土づくりなどに資するコンサルティングを実施。

①コンサルティング

- ・全社生産革新活動
- ・生産技術力向上
- ・WAVE法による生産現場改善活動
- ・新商品／新技術開発活動
- ・自主研方式による生産現場改善活動
- ・業務の棚卸し、機能重視の革新サイクル化活動
- ・ビジョンづくりからその実行、人材育成の支援活動
- ・経営計画策定・展開のためのビジョン共有活動
- ・現場の流れを生むレイアウト改善指導

②メンタルヘルス／ハラスメント相談窓口

個別企業に対する年間サポート（電話や電子メール、ファクシミリによる相談対応）を実施。相談担当者や管理職のラインケア支援、ハラスメント問題への対応、人間関係やコミュニケーションの問題を抱える社員への相談に対応。また、付帯サービスとして予防／啓発のための講習も実施。

③企業診断実習プログラム

中小企業診断士登録養成課程で培った企業診断のノウハウを用いて、診断・改善指導ができる能力醸成するプログラムとして実施。ベトナムにて、現地企業の現場を対象に4日間で診断、報告を実施。

3) 第3部

随時改訂・更新されるISO、IATF、JFS規格の情報を即時に入手し常に最新版にて対応。シンプルで各企業の実情に沿ったシステムの構築を支援。

- ・ISO9001
- ・ISO14001
- ・ISO45001
- ・ISO27001
- ・IATF16949
- ・ISO22000
- ・JFS-A/B（日本版食品安全）

(3) 東京事業部

1) 「経営」「人材」「職場」の3つの視点からのコンサルティング

- ・ V M (Visual Management=見える経営) による改革 (経営革新、収益性改善、経営戦略ブラッシュアップ、目標管理制度改革等)
- ・ V M - F M S (Visual Management-Flexible Manufacturing System=見えるフレキシブル生産システム) 確立による生産革新
- ・ 5 S 活動の推進
- ・ 在庫削減とリードタイム短縮の推進
- ・ 管理、間接部門の O V M S (Office Visual Management System=5 S ・ ビジュアルファイリング ・ V M) の推進
- ・ 管理会計制度の構築
- ・ V M による工場まるごとコストダウンの推進
- ・ 人事制度の構築支援と組織の活性化
- ・ 賃金制度、役割主義人事制度の導入、コンピテンシー評価制度の導入
- ・ 組織風土改革
- ・ 自律度診断及び自律型社員を育てる研修体系作成支援
- ・ 自律型職場づくりワークショップによる職場力開発支援
- ・ 中小企業の事業再生
- ・ 食品衛生管理
- ・ マーケティング戦略の策定・展開
- ・ I S O (9001、14001、27001、22000等) 認証取得、改訂対応、統合支援
- ・ J F S 規格の認定支援

2) 業務協力によるコンサルティング

- ① 金融機関 (政府系、民間) の総合研究所及びシンクタンクと業務協力し、民間企業に対するコンサルティングを受託し、共同で実施。
- ② 公的機関から依頼を受け、地域の中小企業に対するコンサルティング活動、研修事業を実施し、地域の中小企業の人材育成と企業の発展に協力。

[研究開発事業活動]

1) 職員の発表論文と受賞状況

日本品質管理学会 第119回 研究発表会 (2019年5月25日) (於: 東京都)

- ・ 「働き方改革を実現する業務改善活動」 主席コンサルタント 山崎 康夫

日本経営診断学会 第52回 全国大会 (2019年9月27日) (於: 東京都)

- ・ 「製造業におけるコンプライアンスと偽装防止」 主席コンサルタント 山崎 康夫

I C M C I (国際経営コンサルティング評議会) における年次世界会議 (於: パハマ)

(2019年10月15日)

- ・ 「Blending kaizen Technology and Global Networking」

理事 主幹コンサルタント 福山 穰

2) 平成31年度 (公社)全日本能率連盟 顕彰者

顕彰牌 津田 隆典、岩崎 雅之

表彰牌 野垣 智江

3) 専門書、専門誌などの活動

- ・オピニオン ナビゲーター「自己変革で創る新時代」 中部経済新聞社
福山 穰、橋本 豊、原 裕二 (2019年度 毎週木曜日)
- ・「中段工だより」中日本段ボール工業組合
コラム：「法人向けマーケティング力を向上させる」(2019年5月～2020年3月)
「会社を強くする人材育成の進め方」(2019年5月～2020年3月) 野村 佳伸
- ・「工場管理」日刊工業新聞社 2019年6月号特集
小坂 信之、山崎 康夫、佐藤 直樹、丸田 大祐、鈴木 秀光、鈴木 理能、
伊東 辰浩、小島 康幸
- ・「商工ジャーナル」商工中金経済研究所
「成功事例から学ぶ製造業のIoT導入のポイント」 前田 和彦 (2020年1月)
「ITシステム会社と依頼企業のギャップを埋めるITシステム導入コンサルティング」
青山 誠 (2020年3月)
- ・「環境マネジメントモデル規定・文例集」(共著)新日本法規出版 梶川 達也 (2019年4月)
- ・「環境規制手引き」(共著)新日本法規出版 梶川 達也、西川 正、岩崎 雅之 (2019年度)
- ・「月刊人事マネジメント」 株ビジネスパブリッシング
「調査と提言『働き方改革』企業と個人の実感の差を読み解く」 石原 聖治 (2020年1月)
- ・ドラッカー学会年報「文明とマネジメント」～上田先生との最後のやりとり～
福山 穰 (2019年11月22日)

4) 中産連マネジメント大会

当連盟所属コンサルタントが、日頃の活動をとおしたマネジメント手法やポイントを名古屋・東京で紹介。

①第32回マネジメント大会 (名古屋)

開催日：2019年11月19日

会場：メルパルクNAGOYA

大会テーマ：「新たなる価値を求めて ～新時代の競争戦略～」

参加人数：参加総数名 497名

第1部238名 第2部86名 第3部71名 第4部102名

・講演

「SDGs 活用によるグローバル競争戦略」

社会情報大学院大学客員教授、グローバルビジネス学会理事

特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム理事

笹谷 秀光氏

・第1部

「本音の対話で本気の改革行動を引き出す組織風土起点の『働き方改革』」

主席コンサルタント 石原 聖治

・第2部

「製造業における女性活躍の推進に関する課題と対策」

イビデン㈱ 働き方改革推進グループマネージャー 天野 暁子氏

企画営業部長 杉藤 里美

・第3部

「海外・国内工場における海外人材の活用と品質確保」

上席主任コンサルタント 山口 郁睦

コンサルタント 内山 幸二

・第4部

「VDA規格を中心とした世界の自動車部品業界の動向とその対応」

上席主任コンサルタント 畑澤 馨

②第26回東京マネジメント大会

開催日：2019年10月15日

会場：アルカディア市ヶ谷

大会テーマ：「人材を活かす魅力ある職場・組織・制度づくりのために！」

参加人数：161名

「マネジメントも現場も意識も変わる、5Sによる魅力ある組織体制づくり」

経営革新コンサルティング部長 上席主任コンサルタント 佐藤 直樹

「強い職場をつくる部下・後輩指導法」

人材マネジメントコンサルティング部 所長 主任コンサルタント 原 裕二

事例1 ㈱エヌテック「VMによる全員参加の改善活動」

取締役社長 原田 千恵氏、工場長 栗田 朋樹氏

部長 伊藤 利男氏、課長 大河原 あゆみ氏

コーディネーター：主任コンサルタント 伊東 辰浩

事例2 ㈱丸協「VM×QMS×人事制度 一体構築ケース」

代表取締役 大川 英一氏

VM推進課 課長 赤壁 令伊子氏、VM推進課 塩本 憲子氏

コーディネーター：主任コンサルタント 鈴木 秀光

2. セミナー事業（企業内）（423件）

(1) コンサルティング事業部

1) 総合

①階層別

新入社員から中堅社員、管理・監督者向け研修まで、階層ごとの基礎スキル研修を企業および官公庁で実施。特定階層のみ、および複数階層をまとめ体系的に階層間のつながりをもった研修を実施。

環境変化に柔軟に対応し、社内を牽引できる新たなタイプの管理者を育成する研修ニーズが増加したのを受け、選抜型「次世代リーダー研修」（半年間）を実施。

シニア社員の増加やその活性化ニーズを受け、定年または役定後の働き方を本人が再設計する「シニア向けセカンドキャリア研修」を実施。

②人事関連の実務研修

評価者研修や目標管理の導入研修などのほか、人材確保・育成ニーズの高まりを受け、教育計画策定や作業指導、目標管理をテーマにした研修も増加。

- ・ 人事評価
- ・ 面談
- ・ 教育計画策定
- ・ 目標管理指導者（上司）
- ・ 目標管理（本人）
- ・ 作業指導OJT
- ・ 社内講師養成、新入社員育成担当

③各種ビジネススキル

中長期経営計画策定、中期ビジョンづくり、マーケティング、新事業開拓、および業務効率化などに関する実務研修を多数実施。

④ダイバーシティ

- ・ ものづくり職場で働く女性のためのリーダー育成総合研修

製造現業部門や製造間接部門の新任監督者・リーダーまたはその候補者を対象に「意識改革」と「具体的にどのように行動すべきか、そのためには何が必要か」に焦点を当てた実践研修を実施。

- ・ 交流型次世代リーダー研修会

中部の企業4社（㈱パロマ、住友電装㈱、イビデン㈱、日本特殊陶業㈱）の女性リーダーが集まり、人的ネットワークの構築やリーダーとしての動機づけを行う交流型研修を実施。6回のシリーズで各社を会場として開催。

2) 生産・ISO

①生産

ものづくりの基礎となる5S・目で見える管理研修、生産性向上研修などを企業内や各地支援センターなどで実施。また、生産現場の次世代リーダーを育成する目的で、生産の基礎から職場

運営に重要な仕事の教え方やコミュニケーションの取り方までをアクションラーニングで学ぶ1年間の研修を実施。

- ・生産系の管理監督者研修
- ・T W I 仕事の教え方
- ・労働安全衛生の基本知識、K Y T の実践
- ・問題解決の進め方
- ・Q C 等の品質管理基礎研修
- ・小集団活動の進め方
- ・自工程完結、人為ミス未然防止
- ・生産現場改善のためのI E 手法
- ・ものと情報の流れ図の作成と改善
- ・標準作業による作業改善
- ・生産シミュレーション（工作物による演習、提携先のソフト活用）
- ・プロジェクトマネジメント
- ・設計管理技法（F M E A、F T A、Q F D など）

② I S O

I S O 9001、I A T F 16949、V D A 6.3、I S O 14001、I S O 45001などの規格の解説や内部監査員養成研修を多数実施。

(2) マネジメント事業部

1) 第1部

① 経営者から新入社員まで様々な階層を対象とした階層別

- ・階層別T P S
- ・幹部、部長、課長、主任研修
- ・中堅社員研修
- ・ものづくり管理者養成講座
- ・フォアマン研修
- ・小集団活動リーダー養成講座

② 企業の様々な課題や要望に合わせたテーマ別

- ・マネジメント能力向上
- ・問題解決
- ・5Sの知識と実践力
- ・工程内品質保証
- ・T Q M 推進
- ・商品企画開発
- ・標準作業と改善
- ・ジャストインタイム実践研修
- ・J I T ボード演習

- ・ものと情報の流れ図研修
- ・管理間接部門の業務プロセス改善

2) 第2部

①階層別

- ・生産部門の選抜部課長を対象とした中核人材プログラム
- ・管理者研修（新任、現場、問題解決、戦略マネジメント、部下育成）
- ・効果的な部下との接し方
- ・主任研修
- ・中堅リーダー研修
- ・新入社員研修（配属直前、導入、3ヶ月、1年目、2年目、3年目）

②テーマ別

管理技術系

- ・V E 研修（基礎）
- ・I E 基礎
- ・変化点管理
- ・品質管理基本
- ・競争力を高める生産管理
- ・プロジェクトマネジメント

職種別技能系

- ・商品企画開発
- ・設計マネジメントの実務と要点
- ・なぜなぜ& F T A & F M E A
- ・C A E 解析
- ・営業スキルアップ
- ・折衝力交渉力
- ・与信債権管理
- ・海外赴任者研修

ヒューマンスキル系

- ・コミュニケーション
- ・1 on 1ミーティング基礎
- ・リーダーシップ
- ・アンガーマネジメント
- ・ファシリテーション
- ・聴く力（ほめる達人）
- ・ほめ方叱り方
- ・面談スキル講習
- ・ビジネスマナー

- ・採用面接のポイント
- ・メンタルヘルス
- ・心と体の健康に役立つ最強ウォーキング講演会

3) 第3部

各社のニーズに応じてカリキュラムを作成。

その他各種規格の解説研修、内部監査員養成研修の基本研修を実施。

- ・ I S O 9001
- ・ I S O 14001
- ・ I S O 45001
- ・ V D A
- ・ I S O 27001
- ・ I A T F 16949
- ・ J F M S ・ H A C C P
- ・ J F S - A / B (日本版食品安全) 監査 (新規/定期)
- ・ P マーク審査協力
- ・ ビジネススキル (うち2社: 講演会)

(3) 東京事業部

- ・ C A P (中産連アセスメントプログラム) による経営者・管理者・監督者・リーダーの階層別企業内教育研修
- ・ C A L (中産連アクションラーニング研修)
- ・ 人事考課者訓練
- ・ 昇格者研修
- ・ 自律的な職場づくり人づくりのための研修 (新入社員研修、O J T トレーナー研修、メンター研修、若手・中堅社員研修、職場リーダー育成研修、自律を高める部下マネジメント研修、管理職研修)
- ・ 若手社員向け人間関係構築支援研修
- ・ 5 S、ファイリング
- ・ V M (見える経営、目で見える管理、見える目標管理、収益 V M、戦略 V M、組織横断 V M 等)
- ・ 在庫削減
- ・ 品質管理
- ・ 食品衛生管理
- ・ I S O (内部監査員養成、システムのレベルアップ)

3. セミナー事業（公開）（578件）

(1) コンサルティング事業部

1) 第11期 経営後継者育成塾（月3日コース）

同族企業後継者で既に実務に就いている若手経営者・幹部4名を対象に、経営のあり方や事業戦略、事業継承などに関する座学・企業訪問を行い、9月に成果報告会を実施。

2) 第10期 木曾駒塾

中部産業界から優れたリーダーを輩出したいという経営者の方々の想いにより、未来の中部産業界を担う高い志を持ったリーダーを育成することを目的に、中部大手企業29名の参加で実施。

【日程・講師】

第1会合 2019年8月28日(水) 名古屋東急ホテル

発起人講演 中部電力(株) 顧問 川口 文夫氏

第1講 東海旅客鉄道(株) 相談役 須田 寛氏

第2講 東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)

代表取締役社長 最高経営責任者 石田 建昭氏

第2会合 2019年10月17日(木)～18日(金) 木曾駒高原ホテル

第3講 J.フロントリテイリング(株) 特別顧問 岡田 邦彦氏

第4講 ブラザー工業(株) 名誉相談役 安井 義博氏

第5講 トヨタ自動車(株) 元副社長 佐々木 眞一氏

第3会合 2019年12月4日(水) ウィンクあいち

第6講 中部電力(株) 代表取締役会長 水野 明久氏

第4会合 2020年1月22日(水) 中産連ビル

第7講 (一社)中部産業連盟 会長 平野 幸久

第8講 (株)メニコン 代表執行役社長 田中 英成氏

【コーディネーター】

明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授 木村 哲氏

教授 野田 稔氏

3) 第4期 経営を担う次世代リーダー塾

(株)デンソー元専務取締役、アスモ(株)元取締役社長を歴任された花井嶺郎氏を講師に迎え、氏のこれまで培ってきた実務及びマネジメント経験をもとに、参加者の直面する課題解決へのヒントを探り、自社成長に繋げていくことを目的として開催。

中堅企業の次世代の経営幹部候補者13社16名を対象に、2019年9月より全6回実施。

4) 第11期 管理能力向上プログラム

年間を通じて、「人」あるいは「組織」を対象として自部門さらには他部門を巻き込んだ部門間連携により問題や課題を解決していく「管理」を学び、実践。中間・上級管理者9社13名が参加し、上期は自部門の組織運営の問題について解決を実践。下期は部門間の課題に取り組んだ。

【講師】 委嘱コンサルタント 太田 昭男

5) ダイバーシティマネジメント

①第4期 ものづくり企業ダイバーシティマネジメント交流研究会

「ものづくり企業における働き方改革の進め方と女性・シニアが活躍できるものづくり職場の実現」をテーマとし、ものづくり企業のダイバーシティ推進担当者20社40名を対象に先進企業の事例紹介と参加者相互のネットワーク構築を目的として、2019年7月から11月までに計4回オンラインあいちにて実施。

・第1回 2019年7月24日(水)

「製造現場のダイバーシティ活動 ～挑戦できる職場～」

ダイキン工業(株) 堺製作所

空調生産本部 堺製造部 教育・技能伝承担当課長 奥田 恵美子氏

・第2回 2019年8月21日(水)

「技能系女性活躍推進に向けた取り組みについて」

トヨタ紡織(株) グローバル人材開発部 技能系人事室室長 小栗 知之氏

・第3回 2019年10月23日(水)

「社員満足」

鍋屋バイテック会社 代表取締役社長 岡本 友二郎氏

・第4回 2019年11月20日(水)

「女性・外国人活躍のためのダイバーシティ経営への取り組み」

(株)大川原製作所 取締役社長室長 大川原 綾乃氏

【コーディネーター】 (一社)中部産業連盟 参事 杉藤 里美

②ものづくり企業で働く女性向け研修

・ものづくり企業で働く女性のためのはじめて学ぶ機械図面の見方研修

2019年6月26日(水) 24社31名

2019年11月21日(水) 23社30名

2019年12月5日(水) 21社31名

・模型で実践しながら体感できる「からくり技術の基本」セミナー

2019年9月19日(水) 11社14名

・自分で考え行動する力をつける「女性社員のための生産性向上実践研修」

2019年10月2日(水) 26社30名

6) 第23回 次世代グローバルリーダー育成短期留学コース (参加者10名)

米国インディアナ州ノートルダム大学ビジネススクール (Mendoza College of Business) にて、日本人向けに特別にアレンジした大学での講義 (2週間) と、企業視察 (1週間) を組み込んだ3週間の短期留学コースを実施。グローバル人材に必要なコミュニケーション能力・異文化理解力・ビジネス力の3大スキルの研鑽を図った。

①開催期間

・事前研修 2019年4月～5月 (全3回)

・現地研修 2019年6月8日(土)～29日(土) (3週間)

②開催場所

- ・講 義：米国ノートルダム大学 ビジネススクール（インディアナ州サウスベンド市）
- ・企業視察：インディアナ州およびイリノイ州の民間企業

7) コンサルティング紹介セミナーおよび研修

- ・モノと情報と時間の流れ図の描き方と活かし方

2019年 5月31日(金) 15社20名

2019年11月29日(金) 13社18名

- ・RPA業務改善セミナー研修

2019年 7月11日(木) 8社10名

2019年 9月18日(木) 9社10名

- ・“稼ぐ力”を確実に高める「流れ生産と現場情報のシステム化戦略」

2019年 7月 4日(木) 7社 9名 (東京開催)

2020年 2月 5日(木) 7社11名

- ・あり方で生きる「経営者としてのものの考え方」

2020年 3月 5日(木) 11社11名

(2) 人材サービス事業部

経済産業省中部経済産業局による、平成31年度「中部地域における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業 経験値活用型サポート人材の確保事業」を受託し、愛知・岐阜・三重・石川・富山の5県内において経験値活用型サポート人材と地域中小企業や小規模事業者とのマッチングを担当。

5県内の中小企業・小規模事業者に経験豊富な経験値活用型サポート人材を紹介し、対象企業の経営課題を解決することを目指す。参加企業は信用金庫はじめ地方銀行、信用組合等金融機関の融資先等で、人材との交流会で両者が面談し、適切な人材を選定。年度内に、16回の交流会を実施。

本年度から新たに、平成31年度「中小企業・小規模事業者人材対策事業（サプライヤー応援隊事業）」が中部経産局に採択され、9月から本格稼働。次世代自動車に対応するため中小企業等に専門人材を紹介し、課題解決を支援する事業。当地域の産業構造から大きな反響を得て、事業を展開。事業紹介の会合を開催し、事業参加企業を募り、適切な人材を複数紹介。

上記に付随して、各種のコンサルティング、企業内研修を受託、実施。

(3) マネジメント事業部

1) 第1部

①階層別

取締役研修、部長研修、課長研修、係長研修、主任研修、中堅・若手社員研修、新入社員研修シリーズ、新入社員フォローアップ研修、社会人ステップアップ研修

②製造部門階層別

製造幹部研修、製造管理者研修、製造監督者研修、製造現場中堅社員研修、新任班長研修、TWI監督者訓練、現場リーダー実践研修

③生産部門

生産管理の基本、現場改善入門、モノづくり現場のムダ退治、ポカミス撲滅への体質改善と対策

の進め方、ヒューマンエラー対策、品質管理の考え方・進め方、QC的な仕事の進め方、QC 7つ道具の活用法、「なぜなぜ分析」の進め方、5Sセミナー、自工程完結品質作り込み強化方法、品質不良の再発防止、製造現場の問題発見・着眼力向上、工程内品質保証の進め方、トヨタ流「業務改善の進め方」、作業改善の進め方、3H対策の進め方、ムダ取り改善力向上研修、行為保証の考え方と進め方、製造現場リーダーのための改善力を高める7つの方策、製造現場のレイアウト改善、やさしい設備の日常点検と管理の進め方、よくわかる現場の「油圧・空圧」、よくわかる現場の電気、簡易自動化の進め方、基礎から学ぶ段取り改善の進め方、工場エアの異常対策、生産準備の進め方、棚卸業務・在庫管理の進め方、PLC入門

④原価管理、購買部門

コストテーブルの考え方と作成法、設計段階での原価のつかみ方

⑤物流部門

生産段階における物流改善の考え方と進め方、トヨタ物流方式(TLS)の基本的考え方

⑥技術、開発、設計部門

はじめて学ぶ設計の心得と実務、設計のムダ退治と低コスト化、設計部門のポカミス撲滅と検図の仕組みづくり、設計審査(DR)の上手な進め方、治具・取付具・位置決め設計の上手な進め方、技術者のための文章力向上研修、商品企画力・開発力の基本、技術者向「コミュニケーション・プレゼン力」を高める3つの方策、加工知識と設計見積力による設計の強化、設計リーダーに必要なマネジメントの実務と要点、機械材料の基礎、構想設計力向上、設計段階での原価のつかみ方と原価低減の進め方、DRBFMの効果的進め方、電気・電子回路図面、鉄鋼材料の熱処理と表面硬化、図面で原価を造り込む具体的な考え方、開発費削減活動の進め方、製品設計と原価企画、機械加工の基礎

⑦トヨタ生産方式関連

○階層別研修

[マネージャー層]

- ・ものづくり管理者養成講座
- ・「モノと情報の流れ図」の描き方と対策

[監督者層]

- ・実践! 「TPSに基づくフォアマン研修」
- ・「標準作業と改善」実習
- ・JITボード演習
- ・ジャストインタイム実践研修
- ・トヨタ生産方式に基づいた儲かる生産保全

○生産技術マン養成講座

○第81回、第82回「トヨタ生産方式研究会」

本研究会開講40余年を迎え、時代の変化と共に進化し、かつ時代の変化の中でも不変であるトヨタ生産方式の本質をトヨタ自動車㈱ならびにトヨタグループ各社の多大なるご協力の下に開催。

・研究会概要

【第81回】

特別講演「トヨタ生産方式の本質」

講演者 トヨタ自動車㈱ 執行役員 朝倉 正司氏

内 容 と 講 師	期 間
P A R T I 「改善の進め方」講座 【参加者280名】 講師：トヨタ自動車㈱ T P S本部生産物流領域 兼 生産調査部 領域長 尾上 恭吾氏 ほか6名	2019年 5月15日～17日 (3日間)
P A R T II 「作業改善」研修 【参加者35名】 講師：トヨタ自動車㈱ T P S本部生産調査部 領域長 尾上 恭吾氏 主査 藤井 彰一氏 ほか 会場：(株)東海理化 豊田工場 (株)デンソー 西尾製作所 トヨタ紡織㈱ 高岡工場	2019年 6月16日～21日 (6日間)

【第82回】

特別講演「トヨタ生産方式の本質」

講演者 トヨタ自動車㈱ 執行役員 朝倉 正司氏

内 容 と 講 師	期 間
P A R T I 「改善の進め方」講座 【参加者280名】 講師：トヨタ自動車㈱ T P S本部生産物流領域 兼 生産調査部 領域長 尾上 恭吾氏 ほか6名	2019年 10月9日～11日 (3日間)
P A R T II 「作業改善」研修 【参加者25名】 講師：トヨタ自動車㈱ T P S本部生産調査部 領域長 尾上 恭吾氏 主査 藤井 彰一氏 ほか 会場：アイシン精機㈱ 新豊工場 豊田合成㈱ 平和町工場	2019年 11月10日～15日 (6日間)

⑧フォーラム

第22回 モノづくり応援フォーラム

～変わらないモノと変えなくてはいけないモノ～

今回のフォーラムでは、これからの時代を乗り切るためのイノベーションをポイントに有為
 転変の著しい時代においても持続的に成長を続ける企業にご講演を頂いた。

日 時：2020年2月7日

会 場：トヨタ産業技術記念館

参加者：約120名

2) 第2部

①中小企業診断士登録養成課程

中小企業に経営診断及び経営のアドバイスを実施する中小企業診断士を養成するために、平成
 19年（2007年）より中小企業診断士登録養成課程を開講。

第12期は2019年3月より、24名（第11期下期休学・今期復帰者を含む）の受講生で実施。2020

年3月全員修了し、これにより講座開講以来、通算200名超の修了生を輩出。さらに、同月開講した第13期は受講ニーズに応じて定員を32名に拡大。

②企業内イノベーション人材育成プログラム 「iアカデミー」

企業内から「イノベーション」を促進する人材を育成し、日常的にイノベーションを起こしうる組織風土を作り上げることを目指して、企業内イノベーション人材育成アカデミー（i.アカデミー）を開講。学識経験者による実践的な指導を内容とした年間10回のプログラムを実施。

③公開セミナー（129回、参加者1,668人）

[階層別]

取締役研修

[工学基礎]

製図技能教室、機械設計製図教室、図面の見方・読み方研修、電気回路図面、幾何公差設計、板金樹脂切削、金属疲労の基礎、材料構造力学、樹脂材料、金属材料、ゴム材料、樹脂成型、鉄鋼材料

[設計スキル]

DRBFM手法、製品コンセプト、工程FMEA

[生産・製造]

トヨタ物流方式、新任監督者部下の扱い方、生産管理の基本、なぜなぜ分析、問題解決STEP、5S+目で見える管理、現場改善、物流改善

[品質]

ヒューマンエラーとポカミス、品質造り込み強化、QC的な仕事の進め方、QAネットワーク

[原価・VE]

原価のしくみ、VEL養成

[購買・調達]

購買外注担当の基本、見積データの上手な活用法、調達コストダウンと値下げ、下請法、購買部長・課長

[営業]

セールストーク、営業マネージャー、営業アシスタント、価格競争・営業力向上、受注を勝ち取る価格設定と原価見積、与信管理、上手なコストダウン、営業折衝力・交渉力、与信管理、クロージング営業

[コミュニケーションスキルアップ]

コミュニケーションマナー、業務改善力、若手報連相、管理者報連相、働きやすい職場5つの取り組み、チーム力アップコーチング、アンガーマネジメント、ほめ方・叱り方

[ビジネススキルアップ]

秘書研修、「考える力」育成、PDCAサイクル、PC時短活用術、接遇実務、仕事の教え方、意思決定力、行動力向上、ファシリテーション、管理者の課題設定、問題発見と解決力

[メンタルヘルス]

セルフケア、ラインケア

[財務・総務・貿易]

貿易基礎実務、簿記、決算書の見方、契約書の基礎、年末調整、人事制度の運用と改革

④フォーラム・大会事業

- ・第51回中部V E大会（価値向上フォーラム2019）
- ・自動車産業フォーラム2020 最新技術講座

自動車産業の今後の方向性、注力すべき技術開発・ビジネス分野について、日本を代表する自動車メーカー・部品メーカー各社の第一線技術者が解説。愛知県との共催により実施。第1日目は予定通り実施したが、第2日目は新型コロナ感染拡大予防のため実施を見送った。

⑤研究会事業

- ・中部V E研究会（通年／V E大会、専門部会を開催）
- ・ヤングエグゼクティブフォーラム

数字を体系的に理解できる経営者・経営幹部を育成するとともに、異業種交流の機会を提供し、専門家による新しい認識の発見、メンバー相互の業種・職種紹介を通じて、人脈形成の場となるフォーラムとして実施。年間12回のプログラム。

- ・人事実務基礎講座（6回シリーズ）

⑥海外洋上研修事業

第35回中産連“創造の船”

洋上や海外という非日常空間から生まれる一体感と交流を通じて意識の改革を図り、視野の拡大と自己の行動変革を図る。

- ・期 間：10月24日～10月31日
- ・訪問国：シンガポール、ベトナム、インドネシア、インド

⑦海外受け入れ研修

中国製造業企業管理技術訪日研修団

製造業、建設業など、全9コースを受け入れ実施。

⑧受託事業

静岡県新成長産業戦略的育成事業

- ・次世代自動車最新動向セミナー
- ・次世代自動車新規軽量化材料シミュレーション技術実習
- ・次世代自動車要素技術研究講座

群馬県関連諸事業

- ・E V関連技術人材育成講座（全8回中4回分受託）
- ・次世代自動車最新動向セミナー

⑨2020年度中産連人材育成フォーラム

次年度の「人材育成のあり方」に関する講演・企業事例と中産連の研修事業計画の紹介。

日 時：2019年12月18日(水)

場 所：愛知県女性総合センター（ウィルあいち）

内 容：【基調講演】

「残業学ー長時間労働はなぜ生まれるのか？組織開発でいかに解決するのか？」

立教大学 経営学部 教授（人材開発・組織開発） 中原 淳 氏

【企業事例①】

「オムロンのイノベーションマネジメント」

オムロン㈱ イノベーション推進本部

プロジェクトマネジメント室長 石原 英貴 氏

【企業事例②】

「メンバーの気づきと組織の自走を促すCKI活動」

キヤノン㈱ 人事本部

人材・組織開発センター部長 小西 大輔 氏

参加者：313名

3) 第3部

ISOの改訂情報をいち早くセミナーとして産業界に情報提供。

日本で唯一VDA-QMC（ドイツ自動車工業会品質管理センター）から認定を受けたVDA規格のフォーマルトレーニングコース実施機関として幅広くセミナーを実施。

HACCP関連では食品安全研修がJFSM（食品安全マネジメント協会）から認定を受け公式コースとして実施。

① ISO9001関連

- ・規格解説
- ・内部監査員研修（2日間／1日間／レベルアップ）[開催地：名古屋、浜松、静岡]
- ・IATF16949規格の解説／内部監査員コース
- ・IATF16949研究会
- ・VDA-QMC各種公式コース
（6.3監査員 新規・更新／IATF監査員 新規／6.5／2／MLA／19.1／19.2／PSCR 新規・アップグレード／フォーメルQ）
- ・VDA6.3規格概説セミナー
- ・ISOマネジメント入門研修

② ISO14001関連

- ・規格解説
- ・内部監査員研修（2日間／1日間）[開催地：名古屋、浜松、静岡]
- ・ISOマネジメント入門研修

③ ISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）

- ・規格解説／内部監査員研修

④ ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）

- ・規格解説／内部監査員研修

⑤ J F S - A / B ・ I S O 22000 (食品安全マネジメントシステム)

- ・規格の解説／内部監査員研修／食品安全

⑥ ビジネススキル

- ・段取り上手の仕事術研修
- ・ロジカルシンキング研修
- ・リーダーシップ研修
- ・伝える力養成トレーニング
- ・管理者が取り組む仕事のストレス研修

⑦ 営業

- ・戦略営業研修
- ・法人営業の基礎力研修
- ・営業組織力向上研修

⑧ 書籍販売事業

VDA規格の邦訳版に関し独占販売権を有している。

- ・ V D A 1
- ・ V D A 2
- ・ V D A 3. 1
- ・ V D A 3. 2
- ・ V D A 3. 3
- ・ V D A D F S S
- ・ 製品及びプロセスの F M E A
- ・ A I A G & V D A F M E A
- ・ V D A 4
- ・ V D A 5
- ・ V D A 5. 1
- ・ V D A 5. 2
- ・ V D A 6
- ・ V D A 6 (英)
- ・ V D A 6. 1
- ・ V D A 6. 1 (英)
- ・ V D A 6. 2
- ・ V D A 6. 3 : 2016
- ・ V D A 6. 3 : 2016 (英)
- ・ V D A 6. 4
- ・ V D A 6. 5
- ・ V D A 6. 7
- ・ V D A 7

- ・ V D A 14
- ・ V D A 16
- ・ V D A 19. 1
- ・ V D A 19. 2
- ・ 製品の完全性
- ・ 学んだ教訓
- ・ 8D
- ・ A-S P I C E
- ・ A-S P I C E (英)
- ・ 市場故障分析
- ・ 民生用電子機器部品使用時のリスク分析のガイドライン
- ・ 新規部品の成熟度保証
- ・ 頑健な生産プロセス
- ・ V D A S C
- ・ V D A 構成部品要求仕様書の標準構造
- ・ 顧客苦情取扱のための標準化プロセス
- ・ 顧客固有要求事項

公 開 研 修	延参加者数(名)
I S O 9001	470
I A T F 16949 (含 研究会)	191
V D A 関連コース (審査員、監査員、6.3、6.5、2)	656
I S O 9001 (計)	1,317
I S O 14001	496
I S O 45001	22
I S O 27001	44
J F M S ・ I S O 22000 (H A C C P)	54
I S O 14001~22000 (計)	616
ビジネススキル	963
営業	29
総 合 計	2,925

(4) 東京事業部

1) 講演会・大会

講演会・大会	テーマ（内容）	開催日	開催場所	講師名 （発表企業名）	参加者数
VM／見える経営 事例発表大会2019 （第12回）	VM活動に全社員で 取り組み、生産革新、 働き方改革を実現し た企業の事例を紹介	2019年7月3日	アルカディア 市ヶ谷	【講演】 ・中産連コンサルタント 【事例発表】 ・株式会社マツオカコーポレーション ・武蔵オイルシール工業株式会社	128

2) 公開セミナー

①生産・在庫・5S関連

- ・生産・事務現場／5S展開
- ・5Sレベルアップ
- ・事務所の5S・ファイリング推進
- ・生産管理改善実践手法習得
- ・生産現場改善＋マネジメント改革による品質向上とコストダウンの進め方
- ・生産現場まるごと「目で見える管理（VM）」実践
- ・設計・開発部門の“見える化”改革&効率化
- ・目標管理&KPI／制度革新＋見える管理
- ・外注管理の課題解決
- ・【書類&電子データ】ファイリングシステム構築／実践
- ・工場まるごと改善推進
- ・工程改善&作業改善／IE演習＋活用1日コース
- ・仕事改革&働きがいのある職場づくり
- ・モノづくり企業まるごと仕事の教え方実践研修
- ・管理会計を活用した全社収益向上
- ・品質管理の急所&38手順【重点ポイント解説】
- ・品質管理レベルアップ
- ・演習による品質管理手法のまるごと習得【1日コース】

②ISO関連

- ・ISO9001内部品質監査員養成コース
- ・ISO14001内部環境監査員養成1日コース
- ・ISO“スリム化／統合化／VM（見える化）”でISOのムダ取り実現
- ・食品安全／ISO22000:2018規格解説&構築
- ・食品事業者のための「JFS-A/B規格」説明会
- ・IATF16949導入に向けたコアツール入門
- ・IATF16949：2016規格の入門（1日コース／ポイント解説）

③人材マネジメント関連

- ・ 転換期における人事制度再構築の着眼点
- ・ 自律型社員をつくる6つのステップ
- ・ 若手社員の正しい育て方

3) 工場見学会

VMに対する理解を深め、VMを普及していくために、VM先進企業の工場・オフィス見学会を開催。

- ・ (株)埼玉富士
- ・ 扶桑工業(株)
- ・ カナエ工業(株)
- ・ (株)ソーシン
- ・ リンナイ(株)大口工場 工場見学会+VM解説セミナー1日コース
- ・ (株)エヌテック

4) 研究開発事業

コンサルタント（経営革新、人材）、営業企画担当者が、年度のテーマを決めて、コンサルティング手法の研究、将来的に発展する商品の開発、技術的な優位のある商品の開発等を行い、成果を報告。

5) VM賞授与

VM賞認定制度に基づく審査基準に沿って、VM活動を実践して成果を上げた企業2社を審査し、VM賞を授与。

- ・ (株)丸協（VM推進賞）
- ・ (株)エヌテック（VM推進賞）

VM推進賞、VM部門賞、VM本賞、VMプレミアム本賞など、1997年より授与した賞はトータルで38となった。

(5) 社会貢献部

展示会「ネクスト・イノベーション・テクノロジーフェア2020」

革新的イノベーションの創出をめざして、モビリティ、ロボット、素材、IoT、研究・技術シーズなどの分野で87の企業および団体による展示に加え、先端技術情報の紹介ほか、人づくり、働き方改革といったマネジメントに関する講演など19テーマのセミナーと8テーマの企業プレゼンテーションを下記のとおり計画。

日 時：2020年3月11(水)～12日(木)（2日間）

場 所：名古屋市中心企業振興会館（吹上ホール）

概 要：講演・セミナー 19テーマ、企業プレゼンテーション 8テーマ

展示 87企業・団体、130小間

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、参加者および関係者の健康・安全面を第一に考慮し一旦延期を決め、その後も新型コロナウイルスの感染終息の目処が立たないことから、最終的に中止を決定。

4. 国際協力事業（10件）

コンサルティング事業部 国際部

1) 国内での活動

(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）、(独)国際協力機構（JICA）、(一財)海外産業人材育成協会（AOTS）、(一社)日・タイ経済協力協会（JTECS）などから受託し、教育訓練を実施。

①企業診断手法を使った現場力向上プログラム

期 間：2019年4月8日～12日（5日間）

実施機関：AOTS

②泰日工業大学（TNI）教員研修

期 間：2019年10月21日～25日（5日間）

実施機関：JTECS

③令和元年度産油国技術者研修等事業 特別研修事業 アゼルバイジャン特別研修

「日本式マネジメント“KAIZEN”コース」講義業務

期 間：2019年11月26日～12月11日（3週間）

実施機関：JOGMEC

④「青年研修 アフガニスタン／地域における中小企業振興」研修コース

期 間：2019年12月3日～18日（2週間）

実施機関：JICA

⑤スマート工場視察セミナー

期 間：2020年2月11日（1日間）

実施機関：AOTS

⑥台湾生産性向上コース

期 間：2020年2月24日、26日（2日間）

実施機関：AOTS

⑦書籍発刊セミナー

「質の高い成長につながる“学習する企業”～カイゼンを再考する～」

期 間：2020年2月27日（1日間）

実施期間：JICA研究所

2) 海外での活動

インド自動車部品工業会（Automotive Component Manufacturers Association of India：ACMA）に講師派遣を実施。

ACMA - Chu-San-Ren training program on Diagnosing & improving company through Japanese Way in Sonipat and Pune

開催場所：ハリヤナ州 ソーニーパット県、マハラシュトラ州 プネ県

実施期間：2019年5月20日(月)～5月31日(金) 2週間

5. 受託事務局事業（6件）

(1) マネジメント事業部 第2部

日本経営管理標準（JMS）推進機構

JMS推進機構事務局の運営、およびワーキング活動の運営

昨年度立ち上げた「JMSワーキング活動」では、競争力獲得に取り組む中小企業8社の経営者と共に各種講習や相互現場見学等の交流を通じて、真に役立つ中小企業版JMSを検討。従業員を中心に据えた中小ものづくり経営のあり方を「新JMSフレームワーク」にまとめ提言。

- ・理事会（年1回）
- ・企画委員会（年4回）
- ・ワーキング活動（年4回）

(2) 社会貢献部

1) 環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）

環境パートナーシップ・CLUBは、産業界の環境オピニオンリーダーが中心となり、循環型経済社会の構築を目指し活動（平成12年2月17日設立）

〈主な活動〉

- ・環境行動の社会への浸透活動
- ・環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- ・環境行動に関する情報発信活動
- ・環境活動に関する国際交流活動

上記、諸活動を通じて中部圏から環境対応に関する様々な情報発信を行い、世界に誇れる環境先進地域の形成を目指している。

環境パートナーシップ・CLUBでは、各分科会が視察、セミナー、勉強会、総合学習支援等を企画・運営している。中産連は総合事務局としてこれらをサポートするとともに、会計事務機能として活動を支援。

〈環境パートナーシップ・CLUBの役員と会員数〉

会長 柘植 康英氏（東海旅客鉄道㈱ 代表取締役会長）

副会長 小池 利和氏（ブラザー工業㈱ 代表取締役会長）

副会長 山中 康司氏（㈱デンソー 代表取締役副社長）

副会長 大島 卓氏（日本ガイシ㈱ 代表取締役社長）

副会長 寺師 茂樹氏（トヨタ自動車㈱ 取締役・副社長）

副会長 富成 義郎氏（東邦ガス㈱ 代表取締役社長）

副会長 倉田千代治氏（中部電力㈱ 代表取締役副社長執行役員）

総合事務局長 小川 勝美（(一社)中部産業連盟 専務理事）

副総合事務局長 近藤 元（(一社)中部産業連盟 社会貢献部長）

ほか理事12名 監事2名 顧問10名

年間予算規模 約43,000千円、会員数264社(者)（2020年3月末日現在）

2) SAM日本チャプター名古屋支部

テ ー マ	開催日	講 師	参加者数
SDGsに向けた、自動車の今後の動向	2019年 4月18日	Touson自動車戦略研究所 代表 藤村 俊夫氏	17
過去から探る未来の地球環境と我々の生き方	5月24日	名古屋大学博物館 館長 大路 樹生氏	15
私は「和」の伝道師	6月18日	㈱四日市柿安 代表取締役社長 赤塚 直子氏	21
タカラジェンヌ時代から現在までを、裏話とミニコンサートで“語り”ます！	7月16日	元宝塚歌劇団84期娘役 花城 アリア氏	18
日本における外国人労働者の現在と今後～留学生を中心に～	8月20日	(一社)グローバル愛知 事務局長 Elliot Conti氏	15
航空・宇宙産業の現状	9月17日	名古屋大学大学院 特任教授 小林 実氏	19
ジョークで語る最近の世界情勢	10月15日	元スウェーデン特命全権大使・ エッセイスト 大塚 清一郎氏	17
火力発電は生き残れるか	11月19日	中部電力㈱ 特任アドバイザー・ ㈱JERA 元代表取締役社長 垣見 祐二氏	21
コンプライアンスの緊急課題「個人情報管理」	2020年 1月21日	Vergil Asset Management㈱ エグゼクティブアドバイザー 横井 秀和氏	17
地域と共に歩む中部国際空港の今	1月21日	中部国際空港㈱ 相談役 友添 雅直氏	23
組織の活性化戦略としての男女共同参画推進	2月20日	名古屋大学 副理事・男女共同参画センター長 生命農学研究科 教授 東村 博子氏	21
3月例会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮し中止	3月9日	—	—

3) 日本広報学会中部部会

①中部広報塾

テ ー マ	開催日	講 師	参加者数
第33回中部広報塾 次世代の企業広報は「TEAM SHACHI」から学べ ～愛されるブランド構築のためのコミュニケーション～	2019年 7月4日	㈱スターダストプロモーション TEAM SHACHIチーフマネージャー 花形 渉氏	81

②本部・第25回研究発表全国大会開催支援

日 時：2019年10月19日(土)・20日(日)

場 所：名古屋経済大学 犬山キャンパス

テーマ：統一論題「繋がるチカラが、地方をつくる～地方創生を切り開く英知を体感する～」

4) 日本設備管理学会本部、東海支部

①学会本部

- ・2019年度社員総会

日 時：6月6日(木) 11：00～11：50

場 所：早稲田大学 西早稲田キャンパス

議 案：平成30年度事業報告、収支決算報告の承認の件他

参加者：30名

- ・2019年度春季研究発表大会

日 時：6月6日(木) 13：00～17：30

6月7日(金) 10：00～16：50

場 所：早稲田大学 西早稲田キャンパス

テーマ：「デジタルトランスフォーメーション時代の設備管理」

参加者：193名

- ・2019年度秋季研究発表大会／見学会／併催行事

日 時：11月28日(木) 13：00～17：30

場 所：秋田県立大学 本荘キャンパス

テーマ：「大学×企業のちから」でものづくりを強化する
～「自」ら「工程」を「完結」させよう～

参加者：93名

日 時：11月29日(金) 8：30～13：30

場 所：TDK(株) 歴史未来館

参加者：18名

日 時：11月28日(木) 8：50～13：00

場 所：秋田県立大学 本荘キャンパス

テーマ：東北支部主催：地元企業向けの講習会

「やさしい設備の日常点検・管理の進め方」

参加者：20名

②東海支部

- ・2019年度支部総会

日 時：5月17日(金) 13：00～13：20

場 所：愛知工業大学自由ヶ丘キャンパス

議 案：平成30年度東海支部事業報告、収支決算報告の承認の件他

参加者：30名

- ・2019年度 第23回設備保全シンポジウム

日 時：5月17日(金) 13：30～17：30 ※終了後、懇親会実施

場 所：愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス

テーマ：「災害に備える」

参加者：40名

・2019年度第10期保全技能講座

日 時：10月21日(月)～2020年1月22日(火)

毎月1回 10：00～17：00

場 所：第1回 日鉄ケミカル&マテリアル(株)トライボセンター名古屋

第2回 N T N(株)産業機械技術センター／桑名製作所

第3回 荒川工業(株)

第4回 川北電気工業(株)名古屋工場

テーマ：第1回 機械材料、潤滑管理

第2回 油圧制御、軸受

第3回 空気圧制御、ねじ締結

第4回 電動機の保全

参加者：8名

・2019年度 学生研究発表会

日 時：2020年2月25日(火) 14：15～17：00（発表会）

17：30～19：00（表彰式&懇親会）

場 所：名城大学 天白キャンパス／校友会館1階「シャトー」

内 容：発表件数 7件（名工大、名城大、三重大）、特別講演

上記内容で準備するも、新型コロナウイルスの感染拡大の防止および三重大からの発表辞退、名城大学からの要請により開催中止とした。

・令和元年度 工場見学会

企画委員にて企業に打診するも、新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため、受け入れが難しく今年度は開催中止とした。

Ⅱ. 業 務 報 告

1. 会 勢

2020年3月末日現在の会員数は741社（入会17社、退会27社）

2. 会 議

(1) 総 会

2019年度定時総会

日 時 2019年6月14日(金) 14時～14時55分
会 場 名古屋東急ホテル 3階 「バロックの間」
出席会員 504会員
報告事項 (1)-① 平成30年度事業報告の件
-② 平成30年度公益目的支出計画実施報告の件
-③ 2019年度事業計画及び収支予算の件

議 案

次の議案を承認

第1号議案 平成30年度計算書類（附属明細書含）承認の件

第2号議案 2019年度理事選任（交替）の件

第3号議案 2019年度評議員選任（交替）の件

報告事項 (2)-① 審議役委嘱の件
-② 令和元年度環境保全功労者表彰の件

(2) 理事会・審議会

第292回理事会・第22回審議会

日 時 2019年5月17日(金) 12時55分～13時40分
会 場 ホテルナゴヤキャッスル 2階 「銀の間」
出席理事数 13名 (理事現在数 25名)
代理出席（理事） 1名
出席監事数 1名 (監事現在数 2名)
出席審議役数 7名（代理出席含） (審議役現在数 20名)
相 談 役 1名
中部経済産業局 地域経済課長臨席

議 案

次の議案を承認

第1号議案 平成30年度事業報告、計算書類及び公益目的支出計画実施報告の承認の件

第2号議案 定時総会の日時及び場所並びに目的である事項の件

第3号議案 平成30年度下期新規入会会員の承認を求める件

- 報告事項 (1) 会長、副会長、専務理事の職務執行に関する状況報告について
(2) 訃報について

第293回理事会・第23回審議会

日 時 2019年11月11日(月) 12時55分～13時25分
会 場 名古屋観光ホテル 2階 「曙東の間」
出席理事数 15名 (理事現在数 26名)
出席監事数 1名 (監事現在数 2名)
出席審議役数 7名(代理出席含) (審議役現在数 20名)
相談役 1名
中部経済産業局 地域経済課長臨席
議 案

次の議案を承認

第1号議案 2019年度上期新規入会会員の承認を求める件

第2号議案 2019年度審議役選任(交替)の件

第3号議案 就業規則、パートタイマー就業規則、人事管理規定一部改正の件

- 報告事項 (1) 2019年度上期実施事業並びに収支実績報告の件
(2) 褒章について
(3) 訃報について

第294回理事会・第24回審議会

令和2年3月19日、会長平野幸久が理事全員に対して理事会の決議の目的である事項について下記の内容の提案を発し、また、監事の全員に対して当該提案に対する異議の有無を確認する提案書を発したところ、当該提案につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を得るとともに、監事の全員から書面により異議を述べない旨の回答を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第37条第2項に基づく理事会の決議の省略により、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。審議役にも資料送付。

開催日時及び開催場所

決議の省略の方法により行う。

同意書提出理事数 25名 (理事現在数 25名)
確認書提出監事数 2名 (監事現在数 2名)

議 案

令和2年度事業計画および収支予算案の件

理事会の決議があったものとみなされた日 令和2年3月27日

(3) 評議員懇談会

第11回評議員懇談会

日 時 2020年2月25日(火) 13時30分～14時30分
懇談会(令和2年度事業計画・新規事業 紹介)
会 場 名古屋東急ホテル 3階「錦の間」

出席者 会長、副会長、評議員13名（代理出席含）、専務理事、常勤理事、執行理事4名、
参事1名、職員1名

3. 庶務

(1) 内閣府への申請

1) 2019年6月20日付、内閣府へ申請（公益目的支出計画実施報告書等の提出）、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項により公益目的支出計画実施報告書等を提出した。

(2) 登記事項

2019年7月9日付けで名古屋法務局へ理事変更を登記した。

(3) 職員の状況

2020年3月末日現在の正職員は男性75名、女性30名の合計105名である。

4. 協力活動

(1) 外郭団体・研究会等に対する協力

連盟が業務を受託、または協力している団体は下記のとおりである。

- ・経営企画士会（(公社)全日本能率連盟登録）
- ・日本設備管理学会 本部、東海支部
- ・SAM日本チャプター名古屋支部
- ・日本広報学会 中部部会

(2) 関連法人

- ・中産連ビルディング㈱
- ・㈱リーム中産連

(3) 専門団体連絡協議会

マネジメントの分野で全国的に活動を行なっている8の法人（公益社団法人、一般社団法人、一般財団法人）で組織している専門団体連絡協議会（略称・専団連）のうち、7団体までが東京に本部をおいているが、当連盟は東京以外に本部を持つ唯一の全国的マネジメント専門団体として、この協議会の中核的メンバーとなっている。

5. 役・職員の対外的協力活動

小川 勝美

(公社)全日本能率連盟 理事・会長

経済産業省関係公益法人企業年金基金理事・代議員

JMS推進機構専務理事

環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）総合事務局長

愛知環境賞選考委員会委員

資源循環型ものづくりシンポジウム実行委員会委員

あいち地域循環圏形成プラン推進会議委員

なごや環境大学実行委員会委員

(一社)科学技術と経済の会運営委員会委員

福山 穰

(公社)全日本能率連盟資格認定制度委員会委員

(一財)海外産業人材育成協会理事

三木 素直

厚生労働省 介護サービス事業（居宅サービス分）における生産性向上に資するガイドライン改正等に関する検討委員会 委員

梶川 達也

(一社)全国エネルギー管理士連盟 監事

中部大学 非常勤講師

(公社)全日本能率連盟国際企画ワーキンググループメンバー

(一財)品質保証機構 GAP 認証委員会 委員

省エネ相談地域プラットフォーム外部専門家

寒河江 克昌

(公社)全日本能率連盟 企画委員

柘植 吉則

相山女学園大学 非常勤講師

永見 保幸

(公社)全日本能率連盟組織委員会委員

良雄 信也

専門団体連絡協議会委員

山崎 康夫

東京造形大学 非常勤講師

6. 会員支援

総務本部 会員サービス部

1) プロGRESS（中産連機関誌・月刊マネジメント専門誌）の発行（別表①参照）

新しいマネジメントの提言、企業戦略の紹介など実践的内容で高い評価を得ており、毎号、テーマを絞った特集方式で編集することで、会員企業の関心の高いテーマを特集として企画、また、識者によるコラムのコーナーを設置。

2) 会員懇話会（会員向け無料講演会）（別表②参照）

毎回、タイムリーで話題性の高いテーマを取り上げ実施。

3) 経営・法務相談室（無料）

経営全般に関する無料相談と企業法務に焦点を当てた経営・法務の無料相談室には、これまでそれぞれの時代を反映した相談等が寄せられており、今期も経営課題・問題解決の窓口を開設。

4) 中産連ホームページ

当連盟団体概要の紹介のほか、新着情報コーナーなどで、さまざまな情報を提供するとともに、会員企業ホームページへのリンクサービス、セミナー申込み、コンサルティングの問い合わせ等に対応。また、会員企業向けに機関誌『プロGRESS』バックナンバーのダウンロードサービスを提供。

5) 中産連案内パンフレットの修正増刷

6) 公開研修会案内冊子（無料）の発行

- ・ 2019年4月～6月公開研修会のご案内
- ・ 2019年7月～9月公開研修会のご案内
- ・ 2019年10月～12月公開研修会のご案内
- ・ 2020年1月～3月公開研修会のご案内

別表① 2019年度下期プログラム主要記事

月号	表紙	潮	潮流	特集テーマ	主な内容	懇話会抄録	その他の
10月号	名港海運㈱ 「最大規模の物流センターを開業」 「投資による自動化・省人化を図る」	愛知電機㈱ 代表取締役社長 佐藤徹氏 「会社の喜寿を迎えて… 連伝子と進化」		①中小・中堅製造業における自社ブランド戦略 法政大学大学院 政策創造研究科 教授 井上善海氏 ②中堅企業における人材育成・経営課題実態調査 ～中産連会員の企業へのアンケート調査から～ (一社)中産産業連盟 橋本 豊 主任	第589回 「事業リスクへの対策を再考せよ ～2025年までに強化すべきセキュリティ 対策～」 代表取締役 岩井 博樹氏 株主	ChusanRen_Topics 中部V E研究会の紹介 (一社)中産産業連盟 中部V E研究会事務局 コラム「大道無門」 「マシシで人を育て、地域に活力を、①」 オナーガニックフアーマー朝市村長 吉野 隆子氏	
11月号	ヤンマン㈱ 「見て・触れて・体験しながら学ぶことができるヤンマンコミュニケーションがリアリティを創る」	中村建設㈱ 代表取締役社長 中村仁志氏 『誠心誠意』『東取(新)行』		①SDGSとビジネスチャンス 開発途上国の社会問題と変化する 独立行政法人国際協力機構(JICA) 国際協力専門員/シニアアドバイザー ICT・イノベーション 智之氏 内藤 企業事例(1) 俄L I X I L Lの取り組み 企業事例(2) 俄ユグレナの取り組み SDGSを事業機会とする (一社)中産産業連盟 主任 橋本 豊 ②M&Aによる中小企業の事業承継 ～後継者不在を救う挑戦的な取り組み～ セレンディティティブ・コンサルティング㈱ 代表取締役会長 高村 徳康氏	第590回 「カススタマー・ハラサメントから従業員を守れ ～悪質クレームの現状と課題～」 関西大学 社会学部 教授 池内 裕美氏	コラム「大道無門」 「愛知県民は、日本一野菜を食べる量が少ない!？」 朝も、昼も、夜も、野菜を食べて健康に」 オナーガニックフアーマー朝市村長 吉野 隆子氏	
12月号	OKB大垣共立銀行 「OKBストリート」 大垣駅前商店街 でのイルミネーション	愛三工業㈱ 代表取締役社長 野村得之氏 「恋する時、弛まぬ成長 を目指して」		2020年景況予測と企業動向調査 ～中産連役員30氏の予測～ (中産連役員アンケート ト集計結果より) 勝美 吉則 (一社)中産産業連盟 専務理事 小川 拓植 主任 中産産業連盟 専務理事 小川 拓植 吉則	第591回 「『本業喪失』を乗り越えた企業の“重 要な共通点” ～変換して生き残る企業、転換せずに終 わる企業～」 早稲田大学 ビジネススクール 教授 山田 英夫氏	コラム「大道無門」 「オナーガニック食材でデトックス ～NPOの調査から見えてくること～」 オナーガニックフアーマー朝市村長 吉野 隆子氏 中産連2019年度上期事業および収支実績報告	
1月号	M T L ㈱ 「創業80周年、毎年 「健:才覚、剣:清 廉 謙:忍耐」の社 是願」	中産連会長年頭挨拶 (一社)中産産業連盟 会長 平野 幸久 経済産業大臣年頭所感 経済産業大臣 梶山 弘志氏		①東海経済の2020年展望 日本銀行 名古屋支店長 清水 季子氏 ②2020年の世界経済の動向と日本経済のゆくえ エネルギーの律背反に挑む時代につなぐ 東京理科大学 大学院 経営学研究科 教授 橋川 武郎氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 「合成樹脂異形押出に特化、次々と新たな製品へ挑戦し 需要を拡大 株カトツロン コラム「大道無門」 「COP10は世界をどう変えたのか?」 (公財)日本自然保護協会 広報委員連繫部 部長 道家 哲平氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 「合成樹脂異形押出に特化、次々と新たな製品へ挑戦し 需要を拡大 株カトツロン コラム「大道無門」 「COP10は世界をどう変えたのか?」 (公財)日本自然保護協会 広報委員連繫部 部長 道家 哲平氏	
2月号	東農陶器㈱ 「国内最大の陶磁器 産地で開催の美濃焼 新春見本市に出席」	㈱F U J I 代表取締役会長 胃我信之氏 「未来への責任」		①外国人材の活用から日本企業の課題解決を考える (一社)グローバル愛知 事務局長 Elliot Conti氏 ②組織開発により本音の対話、本気の改革を進める ～中産連・働い方改革の実態調査(企業・個人) 報告より～ (一社)中産産業連盟 執行理事・コンサルティング事業部 第2部 聖治 マネジメント事業部 第2部 主査 小久保 宏樹	第592回 「最強の縄文型ビジネス イノベーションを生み出す四つの原則」 B B T 大学 経営学部 グローバル経営学科 学科長・教授 谷中 修吾氏	人材育成フォーラム基調講演抄録 「残業字一長時間労働はなぜ生まれるのか?組織開発 でいかに解決するのか?」 立教大学 経営学部 教授 中原 淳氏 企業訪問シリーズ「革新の創造力」 「データに基づいた改革で店舗売り上げを五倍へ 伸ばす」 コラム「大道無門」 「生物多様性と企業活動」 (公財)日本自然保護協会 広報委員連繫部 部長 道家 哲平氏	
3月号	阿谷銅機㈱ 「阿谷銅機創業350 周年チャリティデー ンサートを開催」	㈱トーエネック 相談役 雄二氏 「たすきを繋ぐ」		①イノベーションを起こすチームビルディングとは 名古屋大学 未来社会創造機構 特任准教授 名古屋大学 アフターアクションデザイナー 副センター長 石黒 祥生氏 ②大規模災害に備えるBCPの策定 ～今、企業がやるべきことは～ 岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授 能島 暢呂氏	第593回 「リーダーが変われば、組織が変わる ～混乱の時代を勝ち抜くリーダーシップ とは～」 コロンビア大学 ビジネススクール (株)チームボックス 代表取締役 中竹 竜二氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 「アイデアをカタチに、自らの力で前に進み、道を切り ひらく」 ～一年間の取材を振り返って～ 中産連「革新の創造力」取材班 コラム「大道無門」 「せいかかりレレキックオフから次の十年に向けて」 (公財)日本自然保護協会 広報委員連繫部 部長 道家 哲平氏	

別表② 会員懇話会

テ ー マ	開催日	講 師	参加者数
リーダーの基準 ～見えない経営の「あたりまえ」～	第586回 2019年 4月16日	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 清水 勝彦氏	92
日本企業の採用革新 ～科学から課題と解決策を探る～	第587回 5月22日	神戸大学大学院 経営学研究科 准教授 服部 泰宏氏	86
MaaS (Mobility as a Service) モビリティ革命の先にある全産業のゲーム チェンジ	第588回 6月14日	㈱MaaS Tech Japan 代表取締役CEO 日高 洋祐氏	104
事業リスクへの対策を再考せよ ～2025年までに強化すべきセキュリティ対 策～	第589回 7月24日	㈱サイント 代表取締役 岩井 博樹氏	75
カスタマー・ハラスメントから従業員を守れ ～悪質クレームの現状と課題～	第590回 9月20日	関西大学 社会学部 教授 池内 裕美氏	82
「本業喪失」を乗り越えた企業の“重要な共 通点” ～転換して生き残る企業、転換せずに終わ る企業～	第591回 10月31日	早稲田大学ビジネススクール 教授 山田 英夫氏	99
最強の縄文型ビジネス ～イノベーションを生み出す4つの原則～	第592回 11月28日	B B T大学 経営学部 グローバル経営学科 学科長・教授 谷中 修吾氏	61
リーダーが変われば、組織が変わる ～混迷の時代を勝ち抜くリーダーシップと は～	第593回 2020年 1月21日	(公財)日本ラグビーフットボール協会 コーチングディレクター ㈱チームボックス 代表取締役 中竹 竜二氏	110
優れた発想はなぜゴミ箱に捨てられるのか ～イノベーションを生み出す革新的プロセ スとは～	第594回 2月25日	ゴールドラット・ジャパン CEO 岸良 裕司氏	80